

名古屋北部民商ニュース

発行：2022年12月5(月) No. 500

名古屋北部民主商工会

〒462-0035 北区大野町3-19

TEL (052)915-8111

FAX (052)915-8111

E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

中小業者にはメリットなし！インボイス制度は中止を！

会外の業者も、学習会知らせるビラ見て参加

11月25日(金) 19時半から、北区楠地区会館と守山生涯学習センターでそれぞれ「インボイス制度学習会」が開かれ、12人(楠地区会館9人、守山生涯学習センター3人)が参加。楠支部では、10月の支部役員会で学習会を開くことを決め、森支部長が会場を予約。役員で手分けして、周辺に案内ビラを配布したところ、民商会員ではない業者から、参加申し込みが。森支部長から、開会あいさつのあと、事務局からインボイス制度の内容、インボイス制度による影響、「適格請求書発行事業者の届出書」の書き方などを説明しました。「どうでしたか」ときくと「取引先から、とにかく勉強してきてくださいと言われた」「お話を一通り聞いても難しい」と声が上がりました。ビラを見て参加した業者は、「とにかくコロナの影響で仕事がなくなり困っている。またほかのことも民商さんに相談したい」と、その場で商工新聞をとってくれました。



守山生涯学習センターでは、「不動産収入があるが、1部屋以外は個人に貸しているので問題ない。インボイス登録はしない」「取引先からは、何も言われていないが、登録しないといけないのか」など意見や疑問が出されました。また、全商連は「来年9月末まで登録しないことが反対の意思表示であり、いま書くべきは反対署名」と呼びかけています。



11月29日(火) 14時から、守山生涯学習センターの会場に13人が参加。参加者からは「消費税の申告が本則(一般)だと経理処理の際にいちいちインボイスを確認しないといけないが、とてもできないので簡易課税にしたい」「新たに消費税を20万払わないといけないなら、親会社はその分をみてるのか」(今までと変わらない)など、意見や質問が。講師を務めた事務局から「激変緩和措置について、ネットで報道されているが、それだけ反対の声が大きくなっているということ。署名をもう一回り集めて中止させましょう」と訴えました。

愛知県知事選挙に 「尾形けいこ」さんが立候補

11月26日(土) 午後2時30分から、「住みよい西区をつくる会」主催の「県政学習会・要求交流集会」が開かれ、30人が参加しました。はじめに、2月5日投票の愛知県知事選挙に立候補予定の「尾形けいこ」さんが挨拶。尾形さんは「気候危機」「安心の暮らし」「ジェンダー平等」の3つの点について述べ「気候危機への対応をすることにより、新しい雇用も生まれる。わくわくしている」と元気いっぱい述べました。民商も参加する「革新県政の会」の政策委員長の西村さんから、大村県政の大企業中心の政策について、今後の知事選の展望を聞きました。最後は、元県会議員のわしのさんから、共産党の議席があったときは、何本も請願が出され討論して議会らしかったが、今や大村知事に全部OKの議会になってしまった。補聴器補助などの署名を推進し、ぜひ実現したい」と発言が。参加者は、みな熱心に聞き入っていました。

